

磊々峡のくぼみ 新「恋人の聖地」

仙台的奥座敷・秋保温泉
(仙台市太白区)の中心部に
位置する磊々峡らいらいきやうにある
ハート型のくぼみが新たな
「恋人の聖地」として人気
を集めている。

夏目漱石の門下生だった
小宮豊隆(1884~19

66年)が名付けた磊々峡
は、名取川が秋保石を浸食
してできた峡谷。ハートの
くぼみは遊歩道入り口近く
の「覗橋」から、下流側
を見下ろした地点にある。
縦約75㍍、横約1㍍20の大
きさで、雨が降った後には
水がたまり、くつきりと浮
かび上がる。

一部の住民の間では以
前から知られていたが、昨

見下ろせば……



ハート型にくぼんだ岩

春に行われたライトアップ
イベントで旅館関係者の注
目を集めたことを機に、P
Rに力を入れることにし
た。秋保温泉旅館組合は昨

年12月、静岡市のNPO法
人が全国の観光地から選定
する「恋人の聖地プロジェクト」に申請。今年1月に

「覗橋♡ハート」の名称で、
プロポーズにふさわしいス
ポットとして認定を受け

た。同組合の加藤賢一さん

(43)は「温泉街の新たな観
光スポットにしたい」と、
くぼみを赤いライトで照ら
し、PRしている。

磊々峡全体のライトアップ
は5月2日に本格的に始
まる。9月末までの金・土
曜の午後6時半~8時半。
4月中は試験点灯で毎週土
曜のみ。